

FZR400RR SPversion

YAMAHA



ヤマハワークスの力をここに。 SPレース対応、ニューFZR400RR SP仕様デビュー。

数々のレースに精力的に挑むヤマハワークス。

その実績と信頼性に裏付けられた技術を機種にまで反映したFZR400RR SP仕様。

これは、F3レースで活躍したファクトリーマシンYZF400のまさにレプリカである。

その性能は、純粋なスポーツライディングを追求するライダーに、進化したスーパースポーツの世界を提供するとともに、

勝利を目指すライターに優れたレースベースマシンとしてのホテンシャルを提供する。

**SPレースベースエンジンとしての高いポテンシャル
を發揮するDOHC4バルブ・前傾並列4気筒**

軽量化されたストローク、コロード、クラシックシャット吸・排気ポートをさらにスリート化するレンジヘッド。コスス馬力を低減する軽量なバブルマリなど、SPレースベースエンジンとしての高い質を備えたFZR400RR SP仕様のエンジン。ファクトリーレーサーが持つ技術を全面投入されて開発された「ワニ二打」。前傾エンジンという独創的なエンジンにより吸・排気効率の圧倒的な優位性。そしてマシンの前後重量配分の最適化に貢献するエンジンマウントの自由度など、多くのメリットを備えている。

さらなる耐久・燃費効率を追求したシリンドラヘッド吸・排気ポートをよりストレートに構造するため、バブルの抜き角は34°という高い角度に設定。同時にバブルシステム径を細くして吸・排気ガスの流れをさらにスムーズにしている。また、燃費定格8.91ccのコントラクト燃焼室により、圧縮比は12.2を達成している。一方、ヘッドマヨリで②

FZR400RR SP仕様は、シリnderの全高を低く抑えることで、前傾角度や吸排気位置に自由度を与え、より優れたハンドリング性能を実現している。

全周軸域で理想的な燃費を実現する

独創的排気系バイス、EXUP

低・中・高それぞれの回転域において最も効率的な排気を実現するEXUP。エキゾーストパイプ集合部に設けられた可変バルブを、エンジン回転数に応じて回転させ、可変的に排気効率や脈動をコントロール。中低速域では、過度な背压をかけることによって、大きなトルクアップを図っている。出力のピーク時近での効果を狙ったエキバイスと管長の4-1エキゾースト

シグナルアシスト・燃費効率を追求したシリンドラヘッド吸・排気ポートをよりストレートに構造するため、バブルの抜き角は34°という高い角度に設定。同時にバブルシステム径を細くして吸・排気ガスの流れをさらにスムーズにしている。また、燃費定格8.91ccのコントラクト燃焼室により、圧縮比は12.2を達成している。一方、ヘッドマヨリで②

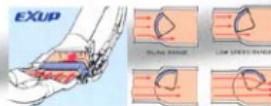
によるバネ下荷重の軽減を実現している。

沖圧減衰力調整機構付

フロント&リアサスペンション

フロントフォークには、リターナーマシンに匹敵する剛性ながら43mmのインターチューブを採用。優れた減衰力の安定性と適応性を発揮する。さらに、外側、圧倒それぞれに減衰力調整機構を備え、走行状況に応じた細かなセッティングが可能にした。

また、キャスター角を24°00'、トレールを32°00'し、クイックでコントローラブルなハンドリング特性を獲得している。リアには、サザンク別式のリンク式モロロススペニションを採用。適切なブロッケージ特性を発揮させ、路面追従能力とトラク



**サーキット走行に向けた
6速クロミッシュギア&複雑クラッチ**

各ギヤ比を最適化された設定により、各ギヤ間のつながりを薄めにし、シフトアップ・シフトダウン時のロスを低減。また、クラッチはクラッチフェニシングをスターダードの8枚に対し15枚の強化タイプとし、切れのよいクラッチワークと軽快な操作感を実現している。

軽量・高剛性を意識めた

アルミデルタボックスフレーム＆リアアーム

鉄の1/3の比重であるアルミをボックス構造にすることで、軽さと高い剛性を実現するアルミデルタボックスフレーム。エンジンをモリントンマウントしてエンジンを構造部材として利用するよりも、ワークスからのデータを反映させた構造解析により極めて高い剛性を獲得している。また、このエンジンマウント方式によってダウントチューブが不要となり、一層の軽量化を達成している。リアアームにはビボットを大きくホールドしてアルミデルタボックスを採用。ビボットマリの剛性を高めることも

ショーン能力を向上させている。リアは7段階のイニシャル調整機構と伴圧・減衰力調整機構が装備されている。

強力なストップインパワーセカンドラス

ブレーキシステム

フロントにはクローディングマウントされた大径298mmのディスクローターと異様なボルトキャリバーをダブルで装着。強力なストップインパワーバーをもたらすと共に、握力に対する効き具合がつかみやすいコントラーパルス性性能をもたらす。リヤブレーキには、ブレーキキング時のリアの挙動を安定させるフローティングキャリバーが採用されている。

絶妙的な美しさを放つスタイル

走りを純粹に追いかけものにして、性能をストレートに表すレプリカのスタイルはどちらかというと官能的なものはない。cdA値0.29の空力性能を実現するカウリング、マスの集中化を考慮したフェューエルタンク、カーボンサイレンサー、シングルシートなど、それぞれが、それぞれの仕事をするためにそこにある。そして、プロトタイプヘッドライドをはじめとするハイオリティなバーツやディテールの仕上げなど、FZR400RR SP仕様には、リターナーマシンとしてのクオリティも盛り込まれている。さらに、93モデルにはヤマハワークスのアイデンティティであるストロボグラフィックがカウリング前面に取り入れられた。



FCR

◎生じるロス馬力を極力抑えるため、軽量なバブルマウントやリリーフナーを使用。また、軽量なラシングシャフトとACマグネトにより、クラクシング回転マスの低減を図っている。

中高速域でのリニアなスロットルレスレスポンスを実現するFCRキャスター

'93モデルには新たにロッドφ32mmのFCRキャブレタータイプ。残気充満によらず、スロットルバルブをスロットルワイヤーでダイヤルにて閉鎖する機構によって、優れたスロットルの応答性を実現。中高速域でのスロットルレスポンスを一段と向上させている。

純正エンジンレイアウト

前頭エンジンは、エンジンをフレームに低くマウントできリバーリッドも備え、これによって、フロント荷重が高まるとともに低重心化が図られ、コーナリング安定性がアップす



ダウントラットタイプFCRキヤブレター

FCRカルターライナで、燃費性能の向上をもたらすとともに、音響性の追求をあわせ、スロットル開度を変化させている。また、加速度ボアが2段階で作動させることで、中速域でマツモトジンを飛んでいる。FAL「ハーフカムアシビターワ」やサウンドのエグゾースターと相まって、高燃費性能を実現する。



EXUP (Exhaust Ultimate Power Valve)

エグゾーストバイパス開度に応じて可変、バルブを、サーボモーターによってエグゾースト管に付ける開閉させることができる。マツモトジンを飛ばすためにシロードユニット、イグニターからマツモトジンを飛ばす方に向けて、サーボモーターの駆動を実現している。



水冷式オイルクーラー

オイルフィルターの温度に応じて、出入りするオイルを冷却水を通した油冷器によって冷却するもの。シロードオイルクーラーと並べ、低温下でのパフォーマンスを確保する効果がある。しかし、耗材コストがかかる。そのため、ラジエーターのスペーカー型（これが可能となり、大型容量のオイルはオイルフローリミッターが搭載されている）。



フロントフォーク減衰力調整機構

伸縮調節はノーフォークの調整アジャストバー回転させることで、ブッシュ位置を変えてセッティング内側のノーフォーク上下動かし、道路面積を変化させることで、左側はフォークオイルの調整スクリューを回転させることで、右側はバルブと並列に通路の幅を変化させる。



リアサスペンション減衰力調整機構

伸縮調節はノーフォークの調整アジャストバーを回転させることで、伸縮オイルを回転させることで、セッティング内側のノーフォーク上下動かし、道路面積を変化させることで、左側はサブタンクの調整ダイヤルを回転させることで、バーナブルの通路面積を変化させる。



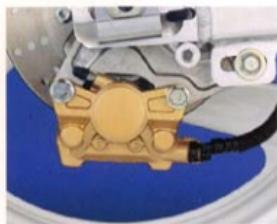
フロント&リア圧入式カラーホイール

実用的で、オーバーナイフを適用可能にするために、フロント、リアともにホイールを注入装置、タイヤホイールのホイールを装着しながら、また、ヨコハマ・ランフラットタイヤとタイヤホイールは組合して、アーチチャージの回転を省略した、さらにアーチチャージ方式も、美しいホイール装着が可能な形状となっている。



フロント・フローティングディスクブレーキ

ディスクブレーキ。チロリーライナのオートマチックレバーハンドルの位置から2本のブレーキ管をブレーキ能力をもたらしていく。ハンドルには最高出力ホットキーが搭載されている。また、ブレーキレバーはリバーブによって複数種類同時に制御できるダイヤル式のアクスルギヤが搭載されている。



リア・フローティングキャリパー

キャリパーも、チロリーライナのオートマチックレバーハンドルの位置から2本のブレーキ管をブレーキ能力をもたらしていく。マツモトジンを飛ばすために、オイルダイヤルが搭載されている。リバーブは実際の操作が難しくないようにしている。これにより、ブレーキ時のマツモトジンを飛ばす能力を向上させていく。



フロント・リア ZR仕様ラジアルタイヤ

ヨコハマ・ランフラットタイヤ（チロリーライナ専用ホイール）を採用。高速走行が実現する。コーナリング安定性、外輪の荷物荷重に左右されず優れた性能を発揮する。サイズは270/40ZR17（前）/270/40ZR17（後）の2台分が標準装備。また、ホイールに浮遊量アーム（ホイールカーブ）が採用されている。



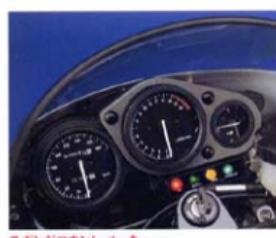
専用シングルシート

スリーピングシートの専用シートを採用。座面に直角にならためシングルシートを採用。シングルシート感のレーシングツーリングシートベースを採用。シングルシート感のシート形状を実現している。また、ノーパーツ（注）は170万円と同様の外観形状が実現されている。



デュアルビーム・プロジェクターヘッドライト

ヘッドランプを2つ配置して、前方のロード面をスムーズに走行性能を上げる。この電気から生まれたプロジェクトアーバン、プロジェクターヘッドライトがながら、走った前方視野を確保するとともに、ダブルフロントとして走ることで、ハイ/ロー切り替えた2段式とした。また、3Dマテリアル表示点灯が採用されている。



スピンジマウント・メーター

10,000rpmの回転スケールを10,000rpmを重心に、スピード、水温の3連メーター構成。クラッチ・リード、油圧計測機能を搭載。マツモトジン。その下に各種のワーニングランプが配置されている。機関停止はマツモトジン。マツモトジン。走行時のみ、操作性を高めたものになっている。



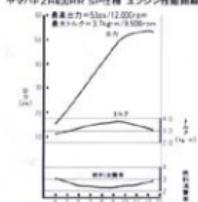
ブルーアッシュホワイトカクテル/ビビッドマゼンタカクテル

FZR400RR SP仕様 メーカー希望小売価格 ￥890,000

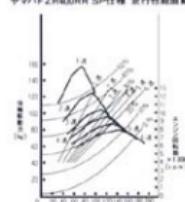
(北海道・沖縄及び一部離島を除く) ●通常は参考価格です。●通常には税込額、税込(または消費税)、要領などに伴う費用は含まれていません。●通常は別途計算のうえ申し受けます。●詳しくは販売店にお問い合わせください。●メーカー希望価格は参考価格ではありません。(YAMAHA) あくまで

FZR400RR SP仕様	型式	373
全高/全幅/全高	1,915mm/750mm/1,090mm	
軸間距離	1,365mm	
シート高/最低地上高	760mm/25mm	
前輪重量	160kg	
燃費/定格走行距離	50km/L(50km/h)	
最高出力/最高	3.2kW(43.5hp)/14,000rpm	
制動停止距離	14.0m(50km/h)	
エンジン形式	4サイクル・水冷直列4気筒	
気筒配置/吸気/吸気量	並列4気筒/4バルブ/55.0cm ³	
内径×行程	55.0mm × 40.5mm	
圧縮比	12.7:1	
最高出力	53.0kW(72.0hp)/12,000rpm	
最大トルク	3.7kg-m(35.5kgm)/10,500rpm	
点火方式	フルラジオジスタ	
始動装置	セミ式	
燃料タンク容量	15L	
エンジンオイル容量	1.5L	
潤滑方式	油圧式オイル・クーリング	
ハンドルバー形状/直径	12V-SAF (C) (YTX9-BS)	
1次送風機/减速比	ギヤ(2.70)(89/41)	
2次送風機/減速比	チューン(2.76)(52/18)	
クラッチ方式	二段式	
変速機形式	リニア式5速	
変速比	2.01/1.94/1.63/1.50/1.36/1.250	
フレーム形式	プレスリップガード	
キャブレターモード	シングルモード/ダブルモード	
タイヤサイズ/前/後	120/70ZR17(110/60ZR17)	
剝離装置/前/後	油圧式ブレーキディスク/油圧式シングルディスク	

ヤマハFZR400RR SP仕様 エンジン性能曲線



ヤマハFZR400RR SP仕様 性能特性曲線



燃費は定一率の燃費条件のもとでの値です。従って実際の燃費・燃費実測・整備などの諸条件によって異なります。
●本車は必ず必要な整備を行うことをおすすめします。●仕様変更などにより、当車や内容が一部変更となる場合があります。
●オフロードは認められません。

見る・見られる・いい運転。バイクゆとりびと
二輪余裕人

このカタログは再生紙を使用しています。

1992年11月現在

Y.E.S.S. YAMAHA EARTHLY SPORTS SYSTEM

ヒト・モノ・ソビで 溢れています。

Y.E.S.S.(エス)とは、YAMAHA EARTHLY SPORTS SYSTEMの略。その他のより狭いサイズのモーターサイクルを楽しむクラブ。



走る。 学ぶ。 読む。 遊ぶ。 競う。 守る。

国内から海外まで、ソロツーリングからグループツーリングの会員さんを、ツーリングシステムがバップアップ、(シェットツーリング)・
ヨーロッパ・海外スキー・ツーリング(フェリーツーリング)

安心運転のマスター・運転技術の向上を、Y.E.S.S.がお手伝いします。(Yマハ・ハピネス・バイク・スクール)(YRSライディングスクール)・(YRSロードスポーツ・トレーニング)(YRSオフロード・スポーツ・トレーニング)

知りたい情報と夢が詰満の会報誌(WAY)、ツーリングイベ

ントのガイドからモータースポーツ速報まで、毎月1回無料で郵送されます。

遊びの天才Y.E.S.S.だから、ブレイブニュー・ヨリ・ユームたっぷり・(イクリング)・ツーリング・スタイル・アース・ラン・(アース・ラン)・(アース・ラン)・イベントが目白押しです。

Y.E.S.S.は全国で各種レースを開催しています。気軽に楽しめるレースでモータースポーツ・ファンを燃焼させましょう。(エン

デューオ)・(モトロード・ハイアル・ムニバ)・



万が一の時、頼れるスタッフカード。最安保障額100万円の

(ライダーズ保険)に自動加入されます。

Y.E.S.S.の入会には特別な資格は一切不要。

モーターサイクルと遊びが好きな人ならOKです。

Y.E.S.S.及び会報に関する情報は、

フリーダイヤル ■0120-319-819(料金無料)へどうぞ。

YRS オンロード スポーツ・トレーニング

国際ABライセンスやマウンテンバイク等のインストラクターが、理論と実践の両面からライディングテクニックを伝授。クローズドコースでのトレーニングが、日常の走りを大きく改善させます。お問い合わせせよ、お申し込みは、Y.E.S.S.加盟店へ。

お客様相談室

このカタログに掲載する問い合わせは、
お問い合わせ窓口(販売店または
下記のお客様相談室へ)。
● 東京(本社) TEL (03) 580-31166
● 東京 TEL (03) 3348-1166
● 大阪 TEL (06) 437-1166

HAVE A NICE RIDE!

ヤマハライディングセミナー

人とバイクの友好生活

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社

〒438 静岡県磐田市新貝2500

TEL 051-303-0518